

講座関連本や人気漫画が所蔵しました！



# スタッフおすすめ図書コーナー

ている図書情報室 2階

## NEW 6月の新着図書



書名	著者	テーマ	書名	著者	テーマ
吉川文字先生に学ぶ：自主・自立を目指して心豊かに生きる	つごもりの会(島尻地区退職女性教育管理職の会)	女性史	クレール：パリの女の子が探す「幸せ」な「普通」の日々	オード・ピコー著 太西愛子訳	コミックフランス(女性)
ありがとう!土井たか子さん：追悼集	追悼集『ありがとう!土井たか子さん』編集委員会	女性史	ジョゼフィーヌ!：アラサーフレンドのさえない毎日	ベネロープ・バジュ著 絵 関達かおる 訳	コミックフランス(女性)
ひとすじの道に生きる：藤原道子自伝	藤原 道子 著	女性史	エロイズ：本当のワタシを探して	ベネロープ・バジュ、フレ著 関達かおる 訳	コミックフランス(女性)
どうする、日本のジェンダー平等戦略：オンラインシンポジウム2023	橋本ヒロ子、林陽子、芹田健太郎 編	ジェンダー	WOMBS CRADLE 上 WOMBS CRADLE 下	白井弓子 [著]	コミック-日本(SF)
1990年代 平和への願望	中村文子 編著	郷土	<b>ピックアップ</b> <b>『禁断の果実：女性の身体と性のタブー』</b> スウェーデンの漫画家による作品です。 主に、ヨーロッパにおける男性陣からの女性の性機能に対する目線の歴史を、コミカルに、また皮肉交じりに、かつ真剣に紹介しています。 特に歴史上の人物たち(女性を趣味・分析の対象としてみていた男性)を挙げている箇所には、作者による痛烈なツッコミが描かれています。歴史上の出来事に関する写真など、多くの参考文献も引用されており、身体に対するジェンダー差別の歴史について調べるための準備として読むのにオススメの一冊です。		
女子大生風俗嬢：性とコロナ貧困の告白	中村淳彦 著	女性問題			
女子教育：女の自立を求めて	奥山えみ子、藤井治枝 編	女性問題			
何度でも言うがんとは決して闘うな	近藤誠 著	医療			
少女マンガジェンダー表象論：〈男装の少女〉の造形とアイデンティティ	押山美知子 著	文化・芸術論 - 女性史			
禁断の果実：女性の身体と性のタブー	リーヴ ストロームクヴィスト 作 相川千尋 訳	コミック-スウェーデン(女性史)			

ているHPから蔵書検索もできます！

<http://www.tiruru.or.jp/facility/library.html> オススメ!



ご予約や本の  
リクエストはスタッフまで!

# スタッフおすすめ図書コーナー



アダムスミスの夕食を作ったのは誰か  
これからの経済と女性の話

トリーン・キラス=マルサル(著)  
高橋 璃子(訳)  
出版:河出書房新社  
331/カ



これまでの経済学の理論に女性の視点から、メスを入れ、分析を行っている本です。  
「ケア労働」と呼ばれる家事、育児、介護を重要視していなかった古典経済学をわかりやすく解説しています。世界20カ国で翻訳されており、家族、社会、国家に貢献してきた女性たちの重要性を改めて感じました。経済学という難しい内容に感じますが、わかりやすく明るい文体で書かれているため、読みやすい内容になっているので、気になった方はぜひ手に取ってみてください。



アンマーとぼくら

有川 ひろ(著)  
出版:講談社  
K 913.6 /ア

かりゆし58のヒット曲「アンマー」をテーマに多くのヒット作を生み出した有川ひろが沖縄を舞台に親子愛を描いたお話です。  
主人公リュウは故郷である沖縄に久しぶりに帰省し、母親と3日間の旅行をしている中で不思議な感覚に襲われます。「斎場御獄」に「残波岬」、「久高島」といった名所だけじゃなく、「電商菊」に「ソーメンチャンプルー」にステーキハウス、ハンバーガー店、沖縄に住んでいたら、読んだ瞬間にわかる描写がたくさんでできます。家族の絆や過ごしてきた日々の大切さを感じられる作品です。



自慢話でも武勇伝でもない「一般男性」の話から見た生きづらさと男らしさのこと

清田 隆之(著)  
出版:扶桑社  
367.5 /キ /男性



恋バナ収集ユニット「桃山商事」の代表として多くの恋バナを集め、恋愛とジェンダーについて発信し続けてきた著者が10人の男性のインタビューを通して、「一般男性」という言葉に隠された様々な問題や悩みを紐解いていきます。  
10人の男性が抱える劣等感やコンプレックス、弱さなどを包み隠さずさらけ出したインタビューになっていて、仕事に恋愛、家族など様々な問題に悩み、葛藤している胸中が語られています。なかなか語られない男性たちの身の上話から、自分が持っていた偏見や自意識を気づかせてくれる一冊です



カルトの花嫁  
宗教二世 洗脳から  
抜け出すまでの20年

冠木 結心(著)  
出版:合同出版  
198.9 /カ



旧統一教会の信者だった母の影響で信者として、カルトに飲み込まれていく著者の半生が描かれています。信者として生活していく中でどんどん日常が飲み込まれ、侵食されていく様子に恐怖を感じました。様々な方法と周囲との関係を断ち切り、逃げ場を無くし、お金も人生も吸い尽くそうとする恐ろしさには言葉をなくしてしまいます。  
自分には遠い話ではなく、身近に起こる可能性がある問題とって一度手に取ってしてみてください。